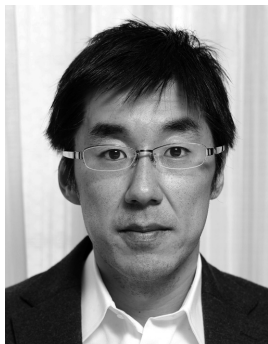


欧州経済の現状と展望

みずほ銀行チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌大輔

- * エネルギー政策の軸は欧州グリーンディール
- * 独自の動きが目立つドイツ
- * 今あるユーロ買いの背景について
- * コロナ前に回復も先行きは厳しい
- * 懸念される賃金インフレ
- * 各国のCPIと賃金の伸びに注目
- * 域内分断回避狙う金融政策
- * 欧州債務危機の再燃はあるか
- * 「未成熟な債務国」に戻ったイギリス
- * 気になるイタリアの動向



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、欧州経済の動向につきまして、みずほ銀行の唐鎌さんにおいていただきました。しかし本会では2回目だと思いましたが、欧州の特に経済の話は久しぶりでございますので、皆さんもご興味がおありかと思えます。日本もあまり状況はよくありませんが、欧州も特にウクライナ戦争の影響も大きく、為替も大きく揺れております。また、政情も大分不安定なものになっていくということ、唐鎌さんは為替が専門でございますが、欧州の為替だけではなくて全般にお詳しいということ、今日はお呼びいたしました。

それでは唐鎌さん、よろしくお願いたしました。（拍手）

エネルギー政策の軸は欧州グリーンディール

唐鎌 本日はお忙しい中、たくさんの方にお集まりいただきましてありがとうございます。

欧州経済の現状と展望ということですが、ちょっとだけ政治の話とかがもってきたらいいなと思っております。また、そうはいっても為替の話も今年はかなり動いていますので、私は一応本業は為替市場の分析もやっておりますので、円相場の話、アメリカの金利情勢、インフレ情勢がどうなりそうなのかというのが、もし時間が余れば最後のほうでやってみたいなとは思っています。よろしくお願いたします。

早速ヨーロッパの話させていただきますが、